

茨城県

育成会だより

第 129 号

発行日 平成 28 年 7 月 10 日
発行 茨城県手をつなぐ育成会
編集 広報委員会
事務局 〒310-0851

水戸市千波町 1918
茨城県総合福祉会館内
☎ 029-243-3838
FAX 029-243-3854

URL: <http://business4.plala.or.jp/iibaikul/>
e-mail: iba-ikuseikai@bz03.plala.or.jp



陶芸教室



おおそら 外観



施設内作業の様子



施設外就労での様子

社会福祉法人バステル
多機能型事業所おおそら（古河市）

管理者 大友 瑞木

「多機能型事業所おおそら」は、平成25年4月より古河市からの民間委託を受けて開設した事業所です。現在は就労継続支援B型事業・生活介護事業・就労移行支援事業を実施し、合計定員60名として運営しています。4月からは徒歩圏内にグループホーム（男性9名）も新規開設し、「楽しく働こう・元気に遊ぼう・豊かに住もう」をモットーに利用者の社会生活に寄り添える支援に取り組んでいます。

働くことについては、利用者の特性に応じて数種類の内職作業と一般就労を希望する方を対象とした施設外就労に取り組んでいます。施設外就労では、①古河日本病院での花壇整備作業、②日本卓球会社での商品の封入作業と2つの企業の協力を得ています。利用者にとっては、真摯に仕事に取り組みること、社会の中で自分の力が役立つことを実感できる場として重要な機会となっています。

遊びに関しては、豊かな人間性を育むための重要な要素として捉え、様々な行事に参加しております。施設内でも、指導者を招いての卓球クラブや陶芸家を招いての陶芸教室、また、自主製品としてのソルトキャンデル作りなどにも取り組んでいます。住まいについては近隣に位置するグループホームには施設通所する方や一般就労している方もおり、連携を取り合いながら、安全安心な生活づくりに取り組み始めたところです。

おおそらでの活動は様々な人に支えられています。保護者会の皆様にも畑作業や清掃活動にご協力を頂いたり、企業と一緒に仕事をさせてもらったり、講師の方々に専門活動を教えて頂いたり大変感謝しております。これらの支えに応えるためにも、利用者の方々に楽しみをもって通所して頂けることは勿論のこと、一人ひとりに役割があり、その役割が地域社会において更に発揮されるよう努めていきたいと考えています。



この印刷物は共同募金配分金の一部が使われています

“新生” 育成会の28年度がスタート！

鈴木会長が退任、新会長に矢野氏

（6月1日評議員会で28年度事業計画を承認）

茨城県手をつなぐ育成会の「評議員会」が、6月1日10時から水戸市の県総合福祉会館で開かれ、平成27年度事業報告・決算報告、および28年度事業計画案・予算案が事務局から提出説明されたあと、出席者全員の拍手による賛同で、それぞれが承認可決されました。これにより、新年度が実質的にスタートしました。

鈴木会長は、冒頭のあいさつの中で、「これまで20年間県育成会の会長職を務めてきたが、自分の年齢等のことを考慮して退任することにした。障害者問題の特性に鑑み、育成会活動は今後も続けます」と表明されました。これに関連して、議事の後半で、「理事」の互選により新会長に前副会長の矢野清氏が選出されました。P5を参照ください。

また、来賓として出席された県障害福祉課高塚課長および県特別支援教育課藤田課長から、それぞれの立場からの現況報告があり、さらに日ごろの育成会の活動にますます期待している旨の激励のあいさつがありました。



28年度の新役員

28年度事業計画の概要

1. 基本方針の概要

（基本主題）

あたりまえに暮らせる社会の実現 自立支援と就労支援の推進 本人の権利擁護と意志の尊重

（年度テーマ）

新たな障害者制度改革への対応 市町村格差のない障害者福祉の実現 地域育成会への充実した情報提供
特別支援学校との連携強化 育成会活動の活性化と会員の拡大
全国障害者スポーツ大会「茨城大会」への協力と参加の推進

2. 組織の強化

- ・28年度の委員会は、従来の7委員会から5委員会に整理統合する。
- ・足腰の強い育成会組織となるよう、地域育成会との連携を強化する。
- ・関連機関・団体との連携強化。特別支援学校保護者との交流事業の推進。

3. 県・市町村への要望活動

- ・会員の意向や悩み、地域が抱える課題について、県や関係機関に対して積極的な要望活動を行なう。
- ・市町村障害福祉担当課との意思疎通の促進

4. 財政基盤の確立

- ・「心のとも運動」のより活発な啓蒙活動と実施 ・賛助会員の検討実施

5. 事業活動

- 変化する障害福祉制度などの理解を深めるとともに、会員の質的レベルアップを図るため、質の高い研修会・勉強会を積極的に開催する。

6. 育成会茨城大会の開催（10/20）および全国育成会連合会大会・関プロ大会等への参加

7. 本人活動への支援

- 障害者の福祉増進を図り、生きがいつくりや社会参加等を促進するための事業を行なう。ボランティア活動参加促進事業の実施。本人部会交流会・障害者教育活動に対する支援等

8. スポーツ・文化行事への参加

- 県スポーツ文化協会が行なう事業に参加し、障害者の自立と生きがいつくりを支援する。

9. 社会啓発活動と情報提供

- ・会報「育成会だより」の年3回（7・12・3月）発行
- ・全国手をつなぐ育成会連合会・関係機関・団体等からの情報収集と会員への提供

10. 茨城県障害者権利擁護対策推進事業

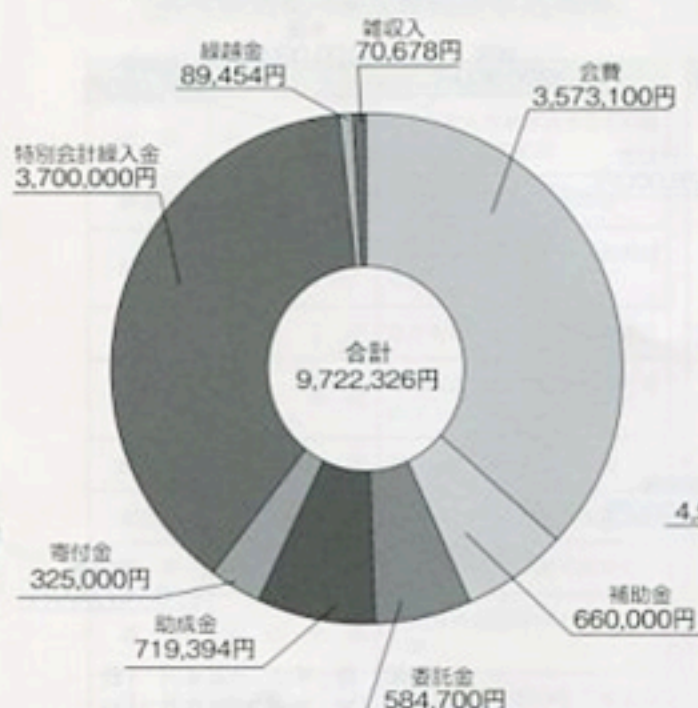
- 県からの委託を受け、相談者を配置し①「障害者なんでも相談室」②「茨城県障害者権利擁護センター」を運営する。26年度運用開始。

11. 茨城県障害者権利条例推進事業（特定相談）（県からの受託事業）

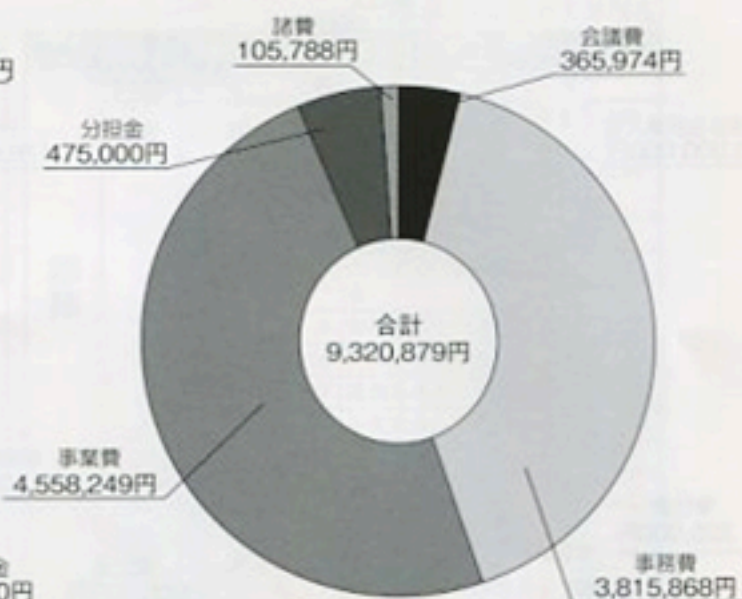
- 県からの委託を受け、障害のある人に対する差別に関する相談に応じ、関係者間の調整や関係機関との連携を図りながら差別の解消に取り組むため、「茨城県障害者差別相談室」を設置し運営する。27年度運用開始。

平成 27 年度決算報告概要

一般会計収入の部グラフ



一般会計支出の部グラフ



期間 自：平成27年4月1日
至：平成28年3月31日

【一般会計収入の部】

単位：円

款	項	決	算	額	割	合
会	費	3,573,100			36.8%	
補	助	660,000			6.8%	
委	託	584,700			6.0%	
助	成	719,394			7.4%	
寄	付	325,000			3.3%	
特	別	3,700,000			38.1%	
繰	越	89,454			0.9%	
雑	収	70,678			0.7%	
	計	9,722,326			100%	

【一般会計支出の部】

単位：円

款	項	決	算	額	割	合
会	議	365,974			3.9%	
事	務	3,815,868			40.9%	
事	業	4,558,249			48.9%	
分	担	475,000			5.1%	
諸	費	105,788			1.1%	
予	備	0			0.0%	
	計	9,320,879			100%	

【特別会計収入の部】

単位：円

款	項	決	算	額
啓	発	2,660,158		
繰	越	7,604,488		
雑	収	1,488		
	計	10,266,134		

※啓発事業収入（心のとも運動）

【基金特別会計収入の部】

単位：円

款	項	決	算	額
繰	入	2,000,000		
雑	収	2,985		
	計	2,002,985		

【基金特別会計支出の部】

単位：円

款	項	決	算	額
繰	出	0		
	計	0		

【特別会計支出の部】

単位：円

款	項	決	算	額
事	業	5,976,210		
予	備	0		
	計	5,976,210		

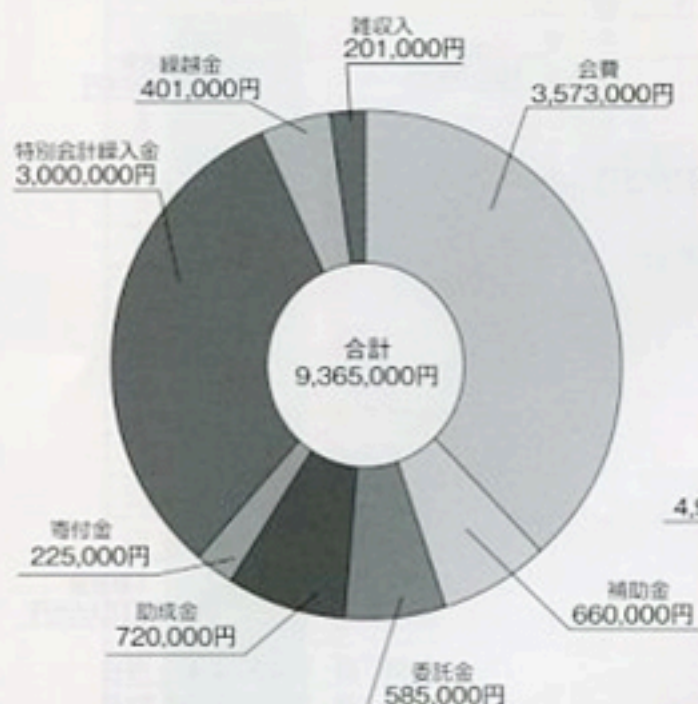
【基金】

単位：円

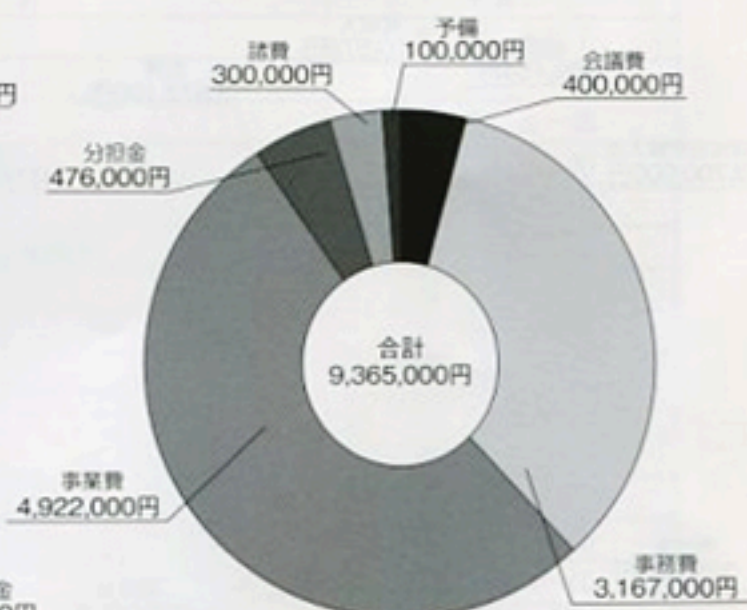
平成 27 年度末現在高	14,238,553
--------------	------------

平成 28 年度予算概要

一般会計収入の部グラフ



一般会計支出の部グラフ



期間 自：平成28年4月1日
至：平成29年3月31日

【一般会計収入の部】

単位：円

款	項	決	算	額	割	合
会	費	3,573,000			38.2%	
補	助	660,000			7.0%	
委	託	585,000			6.2%	
助	成	720,000			7.7%	
寄	付	225,000			2.4%	
特	別	3,000,000			32.0%	
繰	越	401,000			4.3%	
雑	収	201,000			2.1%	
計		9,365,000			100%	

【一般会計支出の部】

単位：円

款	項	決	算	額	割	合
会	議	400,000			4.3%	
事	務	3,167,000			33.8%	
事	業	4,922,000			52.6%	
分	担	476,000			5.1%	
諸	費	300,000			3.2%	
予	備	100,000			1.1%	
計		9,365,000			100%	

【特別会計収入の部】

単位：円

款	項	決	算	額
啓	発	2,470,000		
繰	越	4,289,000		
雑	収	1,000		
計		6,760,000		

※啓発事業収入（心のとも運動）

【基金特別会計収入の部】

単位：円

款	項	決	算	額
繰	入	500,000		
雑	収	1,000		
計		501,000		

【基金特別会計支出の部】

単位：円

款	項	決	算	額
繰	出	501,000		
計		501,000		

【特別会計支出の部】

単位：円

款	項	決	算	額
事	業	3,800,000		
予	備	2,960,000		
計		6,760,000		

【基金】

単位：円

平成28年度末現在高見込額	14,739,000
---------------	------------

精一杯任に当たる覚悟です！

会長 矢野 清

平成28年度茨城県手をつなぐ育成会役員改選により、会長に推薦をいただき、責任の重さで身の引き締まる思いです。

鈴木前会長が20年に渡りご尽力されたその跡を引き継いで行きたいと思っておりますが、前会長の様な力量も人脈も無く、ただ、精一杯任に当たる覚悟でございますので、よろしくお願い申し上げます。

今、急速に高齢化が進むなか、親も子も（利用者）高齢化による諸問題を抱えており、現在県育成会でも大きな問題となっております。特別支援学校については増設されているが、会員の減少などの課題もあり育成会としてどう対応するか問題があります。

これまで20年間、前会長が進めてこられたように、すべての利用者をご家族の方が気軽に相談出来る育成会になれるよう、今後も皆様のご協力をいただきながら新しい育成会を目指したいと考えております。



鈴木前会長（左）と矢野新会長（右）

20年間の会務を果たして

前会長 鈴木 金一郎

盛夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて私こと、この度6月1日の評議員会において、茨城県手をつなぐ育成会会長を退任いたしました。

平成8年に会長に就任してから今年の6月で20年になります。平成18年国連において「障害者の権利条約」が採択され、その年の10月障害者が福祉サービスを選択して住みなれた地域に暮らすことが可能な「障害者自立支援法」が施行されるとともに、種々の法整備がなされ、今年4月1日より「障害者差別解消法」が施行されるなど、激変・激動の時期でした。

会務を果たし得ましたことは、事務局はもとより会員の方々の公私にわたるご厚情ご支援の賜であります。心より厚くお礼申し上げます。今後とも相変らぬご厚誼をお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

茨城県障害者差別相談室の運営

障害者への差別解消を図る

県手をつなぐ育成会は、昨年4月に施行された「障害のある人もない人も共に歩み幸せに暮らすための茨城県づくり条例（障害者権利条例）」に基づく「茨城県障害者権利条例推進事業（特定相談）」の業務委託を受けて、「障害者差別相談室」を設置し、障害のある人に対する差別に関する相談に応じ、関係者間の調整や関係機関との連携を図りながら、差別の解消に取り組んでいます。

平成27年度は、計141件の相談があり、相談内容としては、福祉サービス、雇用、教育等に関するケースの割合が多い状況でした。

今年度は、2人の相談員が交代し、新たな体制で事業に取り組んでいるところです。

【障害者差別相談室の概要】

- 1 相談体制
 - ・相談員3名を配置
 - ・開設日は毎週月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く）時間は午前9時～午後4時
- 2 業務内容
 - ・電話・来所等による相談への対応。必要な助言・情報の提供
 - ・関係者間の調整
 - ・関係行政機関への通告・通報等
- 3 相談窓口連絡先
 - ・電話：029-246-6049 FAX：029-246-6048
 - ・Eメール：s-sohdan@bz04.plala.or.jp

新任相談員2名のごあいさつ

よろしくお願いします

育成会の皆様にはお世話になります。私は今年4月より相談員としてお世話になっております前田と申します。

私は、平成23年3月に県立あすなろの郷を退職、その後民間施設に就労、障害者と接する仕事や水族館の経営企画課にて集客・接客の仕事をしてまいりました。

民間施設退職後2年間趣味の世界に没頭していましたが、3月中旬頃に知人より紹介があり、相談室に就労することになりました。2年間のブランクに多少の不安がありますが、今までの経験を基に頑張っていきたいと思っています。

自分の仕事に対するモットーは、事実の確認と根拠(法)の明確化、自己の感情の抑制です。よろしくお願いします。

前田 秀穂



武田 登美枝

平成28年4月より茨城県障害者差別相談室に勤務し、3カ月が経ちました。今年3月まで、約40年間、知的な障害を持つ方々の直接的な支援をして参りました。今年度より障害のある方を間接的に支援していこうと相談室に務めさせていただいております。

今年4月より法律が施行されたこともあり、昨年よりも相談件数が増えてきております。また、市町村や事業所などからの研修会の講師依頼も増え、啓発活動にも力を入れているところです。

法律の目的である合理的配慮が行き届いた世の中になれば、障害を持っている方だけでなく、全ての人が住みやすい環境になると願いつつ、今後も頑張っていきたいと思っています。



役員・専門委員会名簿

2年間よろしくお願ひします。

茨城県手をつなぐ育成会役員名簿

茨城県手をつなぐ育成会委員会名簿

(平成28年6月1日現在)

役職	氏名	所属
会長	矢野 清	NPO法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会
副会長	船川 栄	日立市手をつなぐ親の会
副会長	嶋田 みち子	石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会
副会長	中村 正子	ひたちなか市障害児者育成会
副会長	飯村 晴代	つくばみらい市手をつなぐ育成会
副会長	大坪 浩	利根町手をつなぐ育成会
副会長	大高 滋	古河市中心身障害児者父母の会
理事	鈴木 金一郎	北茨城市手をつなぐ育成会
理事	杉山 正美	小美玉市中心身障がい児者父母の会
理事	菊池 均	常陸太田市手をつなぐ育成会
理事	伊藤 隆子	笠間市手をつなぐ育成会
理事	大久保 淑子	東海村心身障がい児者親の会
理事	高橋 等	鹿島あゆみの会
理事	吉川 佳代子	潮来市障がい者児親の会
理事	山本 敬由	NPO法人あすなろ会
理事	名兒那 清吉	牛久市手をつなぐ育成会
理事	徳永 一成	稲敷市手をつなぐ育成会
理事	根目沢 浩幸	かすみがうら市手をつなぐ育成会
理事	高橋 健	結城市心身障害児者父母の会
理事	和田 澄子	境町心身障害児者父母の会
理事	富田 和子	水戸手をつなぐ育成会
理事	鳥袋 武	土浦市手をつなぐ育成会
理事	大鳥 みのる	桜川市手をつなぐ育成会
理事	住田 福祉	茨城県心身障害者福祉協会
理事	谷田部 孝子	茨城県教育研究会特別支援教育研究部
理事	平野 あけみ	茨城県特別支援学校知的障害教育校長会
監事	木村 朋子	清香会知的障害者親の会
監事	川内 幸子	水戸手をつなぐ育成会
常務理事 兼事務局員	小森 廣之	茨城県手をつなぐ育成会

委員会	氏名	所属	
総務	委員長	船川 栄	日立市手をつなぐ親の会
	委員	矢野 清	NPO法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会
	・	嶋田 みち子	石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会
	・	中村 正子	ひたちなか市障害児者育成会
	・	飯村 晴代	つくばみらい市手をつなぐ育成会
	・	大坪 浩	利根町手をつなぐ育成会
	・	大高 滋	古河市中心身障害児(者)父母の会
	・	高橋 等	鹿島あゆみの会
	・	杉山 正美	小美玉市中心身障がい児者父母の会
	・	名兒那 清吉	牛久市手をつなぐ育成会
	・	鈴木 金一郎	北茨城市手をつなぐ育成会
	研修	委員長	高橋 等
委員		嶋田 みち子	石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会
・		高安 米子	ひたちなか市障害児者育成会
・		櫻井 詩子	土浦市手をつなぐ育成会
・		吉川 佳代子	潮来市障がい者児親の会
・		堀江 由枝	水戸手をつなぐ育成会
・		大越 わくり	NPO法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会
広報	委員長	杉山 正美	小美玉市中心身障がい児者父母の会
	委員	川内 幸子	水戸手をつなぐ育成会
	・	青木 礼子	NPO法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会
	・	渡辺 征	土浦市手をつなぐ育成会
	・	徳永 一成	稲敷市手をつなぐ育成会
	・	船川 栄	日立市手をつなぐ親の会
	・	大高 滋	古河市中心身障害児(者)父母の会
	・	山本 敬由	NPO法人あすなろ会
権利擁護	委員長	名兒那 清吉	牛久市手をつなぐ育成会
	委員	大坪 浩	利根町手をつなぐ育成会
	・	高橋 健	結城市心身障害児(者)父母の会
	・	飯村 晴代	つくばみらい市手をつなぐ育成会
	・	菊池 均	常陸太田市手をつなぐ育成会
	・	大鳥 みのる	桜川市手をつなぐ育成会
	・	根目沢 浩幸	かすみがうら市手をつなぐ育成会
	・	八幡 正次	日立市手をつなぐ親の会
	・	吉川 興子	水戸手をつなぐ育成会
	・	渡辺 千代子	日立市手をつなぐ親の会
学齢期	委員長	鈴木 金一郎	北茨城市手をつなぐ育成会
	委員	嶋 昌子	笠間市手をつなぐ育成会
	・	伊藤 隆子	笠間市手をつなぐ育成会
	・	尾崎 しづえ	水戸手をつなぐ育成会
	・	富田 和子	水戸手をつなぐ育成会
	・	中村 正子	ひたちなか市障害児者育成会
	・	大久保 淑子	東海村心身障がい児者親の会
	・	鳥袋 武	土浦市手をつなぐ育成会
	・	鈴木 祐子	境町心身障害児者父母の会
	・	成島 理恵	境町心身障害児者父母の会
	・	和田 澄子	境町心身障害児者父母の会
	・	藤久保 真依子	常陸大宮市手をつなぐ育成会
	・	伏見 千夏	小美玉市中心身障がい児者父母の会

茨城県手をつなぐ育成会名簿

平成28年5月30日現在

No.	ブロック	会名	会長名
1	県北	日立市手をつなぐ親の会	渡辺 千代子
2		高萩市手をつなぐ育成会	豊田 守
3		北茨城市手をつなぐ育成会	鈴木 金一郎
4		常陸太田市手をつなぐ育成会	菊池 均
5		大子町心身障害児者父母の会	菊池 和保
6	県央	水戸市手をつなぐ親の会連絡協議会	坪谷 幸広
7		水戸手をつなぐ育成会	大貫 由美子
8		ひたちなか市障害児者育成会	深谷 悦男
9		笠間市手をつなぐ育成会	新田 久枝
10		那珂市障がい児者親の会	若谷 剛彦
11		常陸大宮市手をつなぐ育成会	関 多恵子
12		桜川市手をつなぐ育成会	大島 みのる
13		小美玉市心身障がい児者父母の会	杉山 正美
14		東海村心身障がい児者親の会	鈴木 芳江
15		清香会知的障害者親の会	木村 朋子
16		若葉園父母の会	熊谷 正
17		NPO法人茨城県あすなろの郷手をつなぐ育成会	矢野 清
18	鹿行	鹿島あゆみの会	高橋 等
19		潮来市障がい児者親の会	吉川 佳代子
20		鉾田市手をつなぐ育成会	給前 ゆう子
21		NPO法人あすなろ会	鶴谷 慶一
22		神栖啓愛園保護者会	花田 三男
23		あさひの家家族会	喜多 幸通
24	県南	土浦市手をつなぐ育成会	鳥袋 武
25		石岡市手をつなぐ親の会	小野 進
26		石岡市心身障害児者父母の会	岩橋 ふみ
27		石岡市手をつなぐ育成会野ばらの会	嶋田 みち子
28		NPO法人取手市手をつなぐ育成会	小川 和子
29		取手市青年学級YMO	大久保 朋子
30		牛久市手をつなぐ育成会	渡辺 洋子
31		茅崎手をつなぐ育成会	橋本 けい子
32		稲敷市手をつなぐ育成会	徳水 一成
33		かすみがうら市手をつなぐ育成会	根目沢 浩幸
34		つくばみらい市手をつなぐ育成会	飯村 晴代
35		河内町手をつなぐ育成会	金子 由夫
36		利根町手をつなぐ育成会	大坪 浩
37	県西	古河市心身障害児(者)父母の会	大高 滋
38		結城市手をつなぐ育成会	中島 靖子
39		結城市心身障害児(者)父母の会	菅谷 久美子
40		坂東市心身障害児者父母の会	栗原 芳男
41		下妻市心身障害児者父母の会	野中 利二
42		境町心身障害児者父母の会	福田 勝房

特別支援学校紹介 茨城県内の特別支援学校を順次紹介しています

茨城県立内原特別支援学校（水戸市）

本校は、昭和54年に開校した知的障害特別支援学校です。小学部と中学部があります。在籍児童生徒数は、小学部13名、中学部18名です。「明るく 仲良く たくましく」という校訓のもと活気にあふれた学校を目指し、子ども達一人一人が健やかに成長できるよう、全職員によりきめ細やかな指導・支援に努めています。また、PTA活動にも積極的に取り組んでいます。小規模校の良さを生かし、今年度は【手をつなぐ】を定期購読し会員で回覧しています。会員からは「最新情報を知ったり、いろいろな考え方にふれたりできる」とご意見を頂きました。【手をつなぐ】の回覧をとおして、本校のPTA活動の輪が更に広がるよう期待しています。

平成28年度から通学区域が一部変更になり、本校の通学区域が拡大しました。地域に根ざした活力のある学校を目指し、新通学区域の小・中学校との学校間交流などに積極的に取り組んでいます。本校でおこなった学校間交流や地域との交流の様子をご紹介します。

また、本校の日々の取り組みなど学校ホームページに掲載し、毎月更新しております。ぜひご覧ください。

本校の職業体験の交流「うちとくワークステーション」です。地域の企業等の方々の協力のもと、本校中学部の生徒・近隣の特別支援学校・通学区域の中学校特別支援学級の生徒と一緒に職業体験を行います。



通学区域の小学校特別支援学級の皆さんとの交流会「内原フレンズ」です。年2回行います。1回目はムーブメントを楽しみました。



28年度「うちとくワークステーション」のポスターです。



文化祭「うちよう祭」では、中学部の生徒達がエイサーを披露しました。地域の方々にもご協力いただき盛大に「うちよう祭」が開催できました。



7月からの行事予定

月	日(曜日)	行事予定
7月	2(土)～3(日)	第3回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会(第50回開プロ大会)(横浜市)
	10(日)	「育成会だより」129号発行
8月	28(日)	本人部会交流会(土浦市社会福祉協議会)
9月	上旬	ははえみカップ・ミニサッカー大会決勝(笠松運動公園)
	18(日)	第54回県身体障害者スポーツ大会(石岡運動公園ほか)
	21(水)	権利擁護委員会研修会
10月	20(木)	第54回手をつなぐ育成会茨城大会(県民文化センター)
	22(土)～24(月)	全国障害者スポーツ大会(盛岡市)
	28(金)	茨城県社会福祉大会(県民文化センター)
11月	7(月)	知的障害者相談員研修会

月	日(曜日)	行事予定
11月	下旬	県障害者福祉の集い
	14(月)	権利擁護委員会研修会
	30(水)	単位育成会長会議(理事会と合同)
12月	8(木)～12(月)	ナイスハート美術展(県民文化センター)
	9(金)	ナイスハートふれあいフェスティバル2016(学校教育の部)発表会
	10(土)	ナイスハートふれあいフェスティバル2016(一般の部)発表会
	10(土)	「育成会だより」130号発行
	11(日)	本人部会交流会(北茨城特別支援学校)
	2月	17(金)
3月	1(水)	研修委員会研修会
	10(金)	「育成会だより」131号発行

新事務局紹介

よろしくお祈いします

黒沢 俊江 としま

4月より、茨城県手をつなぐ育成会事務局でお世話になっております。よろしくお祈いします。

以前、知的障害者更生施設にて支援員をしていたこともありますが、もう10数年前のことで、その後は一般企業や病院などで事務の仕事に携わっておりました。

同じ事務とはいえ、仕事内容が全く違い分からないことばかりで、毎日事務局長や前任の老田さんに助けていただきながらのお仕事です。障害者福祉についても、長い間携わっておらず分からないことばかりですので、皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご指導いただきながら仕事に役立ててまいります。どうぞよろしくお祈いいたします。



お世話になりました!

老田 頼子

昭和54年養護学校義務化の年から今年3月まで37年間皆様には大変お世話になりました。研修会・開プロ大会など皆様と一緒に活動した事業が思い起こされます。近年では、平成23年の50周年記念事業、それに続く平成25年の開プロ大会は特に息つく暇が無いほどの忙しさでした。また、県内各地での研修会も良い思い出です。

37年間皆様と一緒に年を重ね、楽しく仕事ことができました。こんなに長く勤めてこられたのも皆様方が温かく見守り接して下さったお陰です。本当にありがとうございました。

本人部会活動も無くてはならぬものです。これからも育成会活動が末永く続くことを願っております。

編集後記

会長の交代があり、慣れ親しんできた前会長鈴木金一郎氏から新会長矢野清氏へバトンタッチされました。お二人の原稿を見て、県手をつなぐ育成会の発展と可能性にわくわくしました。しかし、「育成会だより」の記事に困ったとき頼りにしていた老田さんが退職されたことは残念でしたが、頼りに出来る新広報委員の方々のお陰で無事に第129号が発行出来ました。

(杉山)